

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

切れ目ない子育て支援と実践型プログラムを通じた女性活躍プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

南丹市

3 地域再生計画の区域

南丹市の全域

4 地域再生計画の目標

琵琶湖や淡路島、東京 23 区に匹敵する広大な面積を有する本市には近隣市町村への通勤が可能な地域や通勤が困難な地域があり、その距離に応じた働き方の選択肢が必要であり、特に若年層を対象としながら地域独自の「しごと」づくりや就業の場の確保に取り組んでいる。

市の地域創生戦略においても「新たなしごとづくりの支援」「地域資源を活用した企業誘致・産業化力強化」「観光・交流の拡大」を掲げており、これまでも先行型交付金を活用しながら農林水産業の 6 次産業化や着地型観光、サテライトオフィスの誘致にも取り組むなど積極的な地域の「しごと」づくりに取り組んできたところ。

また、本市においては京都丹波高原国定公園の指定や全国育樹祭の開催、バイオマス産業都市への認定など、内外から時宜を得た高い評価と有利な条件設定などをいただいております。これらの好条件は観光分野における「しごと」づくりを中心とした地域創生をさらに加速化させるものと確信しています。

こうした「しごと」の創出に向けた追い風を利用し、本市の抱えるさらに根本的な課題であり、地方創生の肝でもある少子高齢化の人口構造の解消に向けても取り組みを進めたいと考え、少子高齢化の人口構造の解消に向け、そのトリガーとなる若年層においては、「しごと」づくりや就業の場の確保と同時に、それらが受け入れ可能な社会基盤づくりを同時に進める必要がある。

今回の計画では、NPO 法人と連携しながら官民連携による切れ目のない子育て支援の実施や、施設の拡充など保育環境の整備により、子育て環境のさらなる充実を図ると同時に、特に子育て世代の女性を対象として観光などをテーマに実

実践型研修プログラムを実施することで、女性のスキルアップや、その感性や能力を最大限に発揮できる仕組みづくり、活躍の場づくりを推進し、女性の社会参画を加速化させ、安心して出産、子育て、社会復帰、活躍ができる好循環を創出ことを目的とするものである。

【数値目標】

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
女性起業者数	5 人	5 人	5 人
市民アンケート 「安心して子育てのできるまちか」との問いに 「どちらかというと思う」 以上の比率	1%増	1%増	1%増

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

①切れ目ない子育て支援事業

産前産後のサポートや施設の整備など子育て施策をさらに充実させ、切れ目ない子育て環境整備により、若い世代の夢をかなえるとともに女性の社会での活躍に向けての環境を整える事業

②実践型プログラムによる人材育成事業

観光など本市における今後のしごとづくりにおいて展開が期待される産業をテーマとし、女性を対象としながらマーケティングや商品のアウトプットなどより実践的な研修プログラムを展開する事業

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金【A3007】

1 事業主体

南丹市

2 事業の名称及び内容:切れ目ない子育て支援と実践型プログラムを通じた女性活躍推進事業

本事業は、NPO 法人による産前産後の訪問サポートの実施や、社会参画を見送りがちな2歳児の子を持つ女性の掘り起しのため、それらが利用することの多い子育て支援施設（すこやか学園）の機能充実を主な対象事業とし、子育て支援センターなどの活用（対象外）や保育所の増設（対象外）など独自施策と併せて子育て環境をさらに充実させ、切れ目のない子育て支援の環境を整える。

また、同時に女性の活躍の場を創出し、さらに女性の社会参画を促すため、すこやか学園の母親などを対象とし、創業塾や観光（特産品開発）や食をテーマとした実践型研修プログラムの実施、観光コンシェルジュの育成研修の開催など、マーケティングから商品開発までなどの道程をより具体的に実践から学ばせるなどし、女性のスキルアップを図り、具体的な社会参画への道筋をつけることで、出産、子育て、社会復帰、活躍に至る循環を創生するため実施するもの。

3 事業が先導的であると認められる理由

【官民協働】

- ・産前産後の訪問については全国的にも事例が少ない中、NPO 法人が資格や独自のネットワークを生かし、情報収集や事業の組み立てを行う。行政は対象者のリスト提供を行うとともに大規模な施設の増設や整備を行う。お互いが緻密に連携し切れ目ない子育て支援の仕組みをつくることにより、被訪問者にとっては行政が連携していることによる安心感が得られ、NPO 法人も連携による情報入手の拡充が図られる。

また、実践型人材育成プログラムについては、企業が自らの商品開発におけるプロセスやノウハウなどの知識を提供することになるため、資金的な支援を行政が行うとともに目的を明確化しながら参加者を集め、地方創生加速化交付金で設立する DMO との連携を図ることができる。

【地域間連携】

- ・子育て支援では京都府・NPO 法人・市の連携による切れ目ない支援を実施。人材育成では今後のしごとづくりにおいて展開が期待される産業である観光について、マーケティング等で連携。

【政策間連携】

- ・子育て環境の充実、女性を対象とした起業・創業支援、人材育成が一連の流れ

となることで、出産から子育て、社会復帰への循環が円滑に進み、女性の社会参画が加速化され、少子化対策及び地域経済の活性化に効果が見込める。

【自立性】

- ・産前産後の訪問については事業の充実による利用者負担を確保し、継続を図る。実践型人材育成プログラムの実施については、企業及び参加者の一部負担を確保するとともに、コーディネートについては中間支援を目的とする NPO 法人等への委託により継続性を担保。

【その他の先導性】

- ・産前産後のサポートや施設の整備など子育て施策をさらに充実させ、切れ目ない子育て環境整備により、若い世代の夢をかなえるとともに女性の社会での活躍に向けての環境を整える事業であり、安心して出産、子育て、社会復帰、活躍ができる好循環を創出。

4 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
女性起業者数	5 人	5 人	5 人
市民アンケート「安心して子育てのできるまちか」との問いに「どちらかというと思う」以上の比率	1%増	1%増	1%増

5 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点の KPI の達成状況を企画政策部定住・企画戦略課が取りまとめて、地域創生会議を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果はホームページで公表する。

6 交付対象事業に要する費用

①法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

- ・総事業費46,890千円

7 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成31年3月31日（3ヵ年度）

8 その他必要な事項

- ・狙う市場や実現したい将来像

観光に女性の感性や視点を生かすことで観光者数をさらに増加させるとともに、それらをテーマとした実践的な人材育成を通して、多くの女性が活躍し、それらの事例の積み上げにより社会参画をする女性がますます増え、恵まれた子育て環境の中で好循環が起こる社会の実現を図り、少子高齢化の人口構造の解消を図りたい。

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

事業概要：南丹市立園部保育所では、保育所入所希望者の増加により、現在の定員では対応できない状況が続いている。そのため、保育室3室、トイレの増設及び給食室の拡張を行う。

実施主体：南丹市

事業期間：平成28年8月から平成28年11月

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成31年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

- ・外部組織の参画する南丹市地域創生会議により KPI に対する単年度ごとの達成度をもとに検証を行う。未達の場合については、事業の見直しを行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

- ・評価の時期は平成 29 年 5 月、平成 30 年 5 月、平成 31 年 5 月とし、
KPI に対する単年度ごとの達成度をもとに検証を行う。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の方法

- ・ホームページ上で平成 29 年 6 月を目途に公表する。